

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公表番号】特表2000-503318(P2000-503318A)

【公表日】平成12年3月21日(2000.3.21)

【出願番号】特願平9-525917

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 41/00

A 6 1 K 31/722

A 6 1 K 31/731

A 6 1 K 38/45

A 6 1 K 38/46

A 6 1 K 45/00

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/00 6 4 1

A 6 1 K 31/715 6 0 6

A 6 1 K 31/715 6 1 3

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/52

A 6 1 K 37/54

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月24日(2003.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成15年12月24日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第525917号

2. 補正をする者

名称 アストラゼネカ アクツィエボラーグ

3. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号

虎ノ門5森ビル3階

電話番号 03(3503)8637

氏名 (9109) 弁理士 平木 祐輔



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 本願請求の範囲を別紙の通り補正する。

方 式 査



(別紙)

## 請求の範囲

1. ヒルジン、ヒルジンの断片、低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質、または繊維素溶解性物質を含む、生体内での創傷の治癒過程を調節する際に使用するための医薬製剤。
2. ヒルジン、ヒルジンの断片、低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質、または繊維素溶解性物質を含む、フィブリン関連の癒着を防止または阻害する際に使用するための医薬製剤。
3. ヒルジン、ヒルジンの断片、低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質、または繊維素溶解性物質を含む、瘢痕組織の形成を防止または阻害する際に使用するための医薬製剤。
4. 多糖をさらに含有していることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の医薬製剤。
5. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がガトランであることを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の医薬製剤。
6. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がイノガトランまたはメラガトランであることを特徴とする請求項5に記載の医薬製剤。
7. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がメラガトランであることを特徴とする請求項6に記載の医薬製剤。
8. 繊維素溶解性物質を、ヒルジン、ヒルジンの断片または低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質と一緒に含むことを特徴とする請求項1～7のいずれかに記載の医薬製剤。
9. 前記繊維素溶解性物質が、プラスミノゲンアクチベーター、ストレプトキナーゼまたはウロキナーゼであることを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載の医薬製剤。
10. 前記多糖が、任意の寸法のフィルム、膜、ゲル、溶液、糸、棒またはチューブの形状で製造されることを特徴とする、請求項4、または請求項4の従属項である請求項5～9のいずれかに記載の医薬製剤。

- 1 1. 前記多糖が、フィルム、膜またはゲルの形状で製造されることを特徴とする請求項 1 0 に記載の医薬製剤。
- 1 2. 前記多糖がキトサンであることを特徴とする、請求項 4、請求項 4 の従属項である請求項 5～9、請求項 1 0 または 1 1 のいずれかに記載の医薬製剤。
- 1 3. 低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質を含む、血小板の活性化および凝集を防止または低減する際に使用するための医薬製剤。
- 1 4. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がガトランであることを特徴とする請求項 1 3 に記載の医薬製剤。
- 1 5. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がイノガトランまたはメラガトランであることを特徴とする請求項 1 4 に記載の医薬製剤。
- 1 6. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質がメラガトランであることを特徴とする請求項 1 5 に記載の医薬製剤。
- 1 7. 多糖および低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質を含む医薬製品。
- 1 8. 前記トロンビン阻害物質がガトランであることを特徴とする請求項 1 7 に記載の製品。
- 1 9. 前記トロンビン阻害物質がイノガトランまたはメラガトランであることを特徴とする請求項 1 8 に記載の製品。
- 2 0. 前記トロンビン阻害物質がメラガトランであることを特徴とする請求項 1 9 に記載の製品。
- 2 1. 前記多糖がキトサンであることを特徴とする請求項 1 7～2 0 のいずれかに記載の製品。
- 2 2. 前記多糖がフィルム、膜またはゲルの形状であることを特徴とする請求項 1 7～2 1 のいずれかに記載の製品。
- 2 3. 前記低分子量ペプチド系のトロンビン阻害物質を、多糖を介して注入することを特徴とする請求項 1 7～2 2 のいずれかに記載の製品。